

## 平成30年度「健康しが」コ・クリエーション事業の進捗状況等について

### 1 「健康しが」コ・クリエーション事業の進捗状況

#### (1) 「健康しが」共創会議の設置・運営

##### ア 設置の趣旨

企業・大学・関係団体等の多様な主体との連携により、県民の健康づくりのための様々な分野における新たな活動の創出につなげていくため、アイデアを持ち寄り、語り合う場として、「健康しが」共創会議を設置

##### イ 参画団体数 136 団体 (平成31年2月末現在)

平成30年9月14日から参画団体の募集を開始

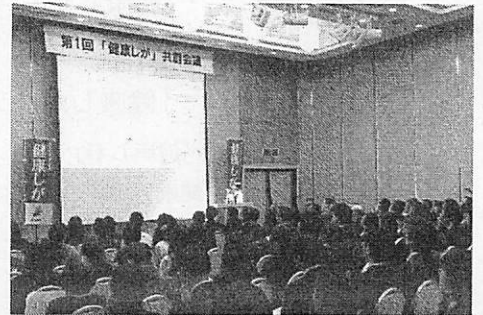
##### ウ 開催状況

##### (ア) 第1回「健康しが」共創会議

日時 平成30年10月31日(水) 13時30分～17時

場所 クサツエストピアホテル

- 概要
- ・91 団体 184 人が出席
  - ・24 団体がそれぞれの取組内容をアピール
  - ・交流会において積極的に名刺交換や情報交換などの交流が図られた。



##### (イ) 第2回「健康しが」共創会議

日時 平成31年1月18日(金) 13時30分～16時30分

場所 県庁東館7階大会議室

- 概要
- ・86 団体 176 人が出席
  - ・14 団体がそれぞれの取組内容、連携事例をアピール
  - ・交流会において設置したブース(25 団体)を中心として積極的に名刺交換や情報交換などの交流が図られた。



##### (ウ) 第3回「健康しが」共創会議(予定)

日時 平成31年3月20日(水) 10時30分～16時30分

場所 クサツエストピアホテル

- 概要 具体的なテーマを設けて意見交換等をする形式で開催する予定
- (テーマ)・職場における従業員の健康増進、健康経営の推進
- ・予防・健診から取り組む健康なひとづくり
  - ・「観光・運動・食」×「交流」⇒「健康」

エ 「健康しが」共創会議による連携事例

- ・株式会社スギ薬局と京滋ヤクルト販売株式会社  
スギ薬局店舗にて腸の健康に関する子ども向け健康教室を開催
- ・住友生命保険相互会社と社会医療法人誠光会草津総合病院  
「健康しが」マルシェにて健康状態の測定と医師のアドバイスを共同ブースで実施
- ・公益財団法人滋賀県健康づくり財団と一般社団法人日本介護美容セラピスト協会  
がん啓発イベント（事務局健康づくり財団）においてセラピスト協会がハンドマッサージ体験を実施 など

(2) 県民向け「健康しが」機運醸成イベントの実施

ア キックオフイベント「健康しが」日本一フェスタおよび第1回「健康しが」マルシェの開催

日時 平成30年7月21日（土）10時～17時

場所 イオンモール草津 セントラルコート、レストランコート

- 概要
- ・「健康しが」キックオフスペシャルトーク等ステージイベント
  - ・企業、大学、関係団体等によるブース出展（32団体）
  - ・「健康しが」大使（※）の委嘱状交付

（※）「健康しが」大使

「健康しが」の推進に係る発信活動の一翼を担っていただくことを目的として設置  
末成由美さん（よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属）  
麻倉ケイトさん（レインボーミュージック所属）



ブース出展



「健康しが」大使

イ 第2回「健康しが」マルシェの開催

日時 平成30年11月18日（日）10時～17時

場所 平和堂ビバシティ彦根 センタープラザ、センターモール

- 概要
- ・「みんなでつくろう！健康しが」ステージイベント
  - ・企業、大学、関係団体等によるブース出展（13団体）



「みんなでつくろう！健康しが」ステージ



ブース出展

ウ 第3回「健康しが」マルシェの開催

日時 平成31年2月16日（土）10時～17時

場所 イオンモール草津 イオンホール、セントラルコート、レストランコート

概要 ・健康寿命延伸プロジェクト優良事例表彰式（※）等ステージイベント

・企業・大学・関係団体等の取組を紹介するブース出展（28団体）

（※）健康寿命延伸プロジェクト優良事例表彰（平成26年度から実施）

県内において健康づくりに関する取組を積極的に行っている地域団体や企業の優良な取組事例を発掘し知事表彰することにより、さらに受賞団体の活発な活動を促すとともに、県民に情報発信することにより、健康づくりに対する県民の意識を高め、健康寿命の延伸を目指す。

（平成30年度最優秀賞）

部門	受賞団体名	取組内容
栄養	ひこね元気クラブ 21 （彦根市）	市民に減塩、野菜摂取を促すため、記念講演会、「食べよう菜弁当」の企画販売、野菜 350g の計量体験等を実施。味覚チェック体験者は1万人にのぼる。 会員数 21 人
運動	歩っ歩の会 （守山市）	毎週土曜日、市民自由参加により約1時間4 kmのウォーキングを実施。参加者は、歩きながら会話がはずみ、交流・居場所となっている。 会員数 90 人
介護予防	草津市老人クラブ 連合会 （草津市）	高齢者を対象に歌、料理、ウォークの会を開催。リーダー養成セミナーを開催し自主運営を図る。 仲間づくり・地域の支え合いの側面を持ち合わせる。 会員数 3,001 人
企業	社会医療法人誠光会 草津総合病院 （草津市）	糖尿病のリスクのある職員に対して、勉強会、体組成測定と血液検査、ウェアラブル端末による遠隔の栄養・運動指導を実施。健康弁当を提供。業務改善、職場環境改善にも取り組む。 従業員数 1,165 人

## エ 「健康しが」地域巡回啓発

滋賀県健康推進員団体連絡協議会および平和堂との連携により、県内の平和堂店舗等で「健康しが」啓発事業を実施（平成30年8月31日～平成30年12月3日、12か所）



パネル展示



買い物客への啓発

### (3) 「健康しが」情報発信事業

健康長寿県のイメージを広く発信し、県民のみなさんが健康について考える機会を提供することを目的として、平成30年10月19日から平均寿命等の現状や県内の健康イベント情報等を掲載した「健康しが」ポータルサイトの運用を開始した。

また、本県の長寿の要因や県民の皆さんが健康に暮らすためのメッセージなどを掲載した「みんなでつくろう！健康しが」小冊子を作成した。



「健康しが」ポータルサイト



「健康しが」のぼり旗

併せて多くのテレビ番組に取り上げられ、本県の取組が情報発信された。

- ・TBS「あさチャン」平成30年10月17日(水)  
本県の長寿の理由として、ボランティア活動、禁煙店舗、運動などを紹介
- ・テレビ東京「池上彰が選ぶ今知っておきたい小さいニュース」平成30年12月16日(日)  
本県の長寿の理由として、健康推進員の活動、県民のスポーツ実践などを紹介

- ・TBS「健民+県民～ニッポン健康井戸端会議」平成31年1月2日(水)  
本県の長寿の理由として、健康推進員の活動などを紹介
- ・テレビ朝日「池上彰のニュースそうだったのか!!」平成31年1月26日(土)  
本県の健康推進員を「塩分Gメン」として紹介 など

#### (4)「健康しが」県民意識調査の実施

##### ア 調査目的

本県の平均寿命および健康寿命(客観的指標)は、全国的に見て高い順位にある一方で、健康寿命(主観的指標)の全国順位は低く乖離が見られることから、県民が健康についてどのように認識しているかを把握する。(滋賀医科大学に委託して実施)

##### イ 調査方法

概ね30～70歳代の男女、それぞれ5～7名(合計10グループ、50～70名)程度を対象として、自身の健康状態、日常生活における自立度や健康に対する認識について個別に聞き取り調査を実施

##### ウ 結果の活用

平成29年度に実施した都道府県別の平均寿命、健康寿命の要因分析および今年度実施している市町別分析と併せて、市町や「健康しが」共創会議参画団体と情報共有し、「健康なひとづくり」、「健康なまちづくり」に向けた取組に活用する。

## 2. 平成30年度の成果と今後の方向性

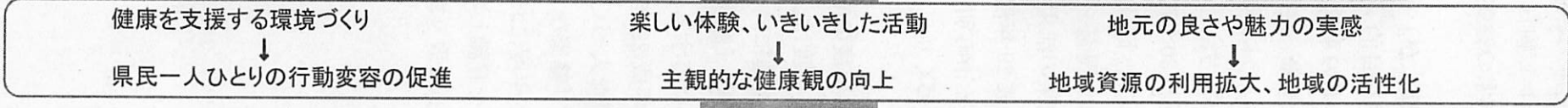
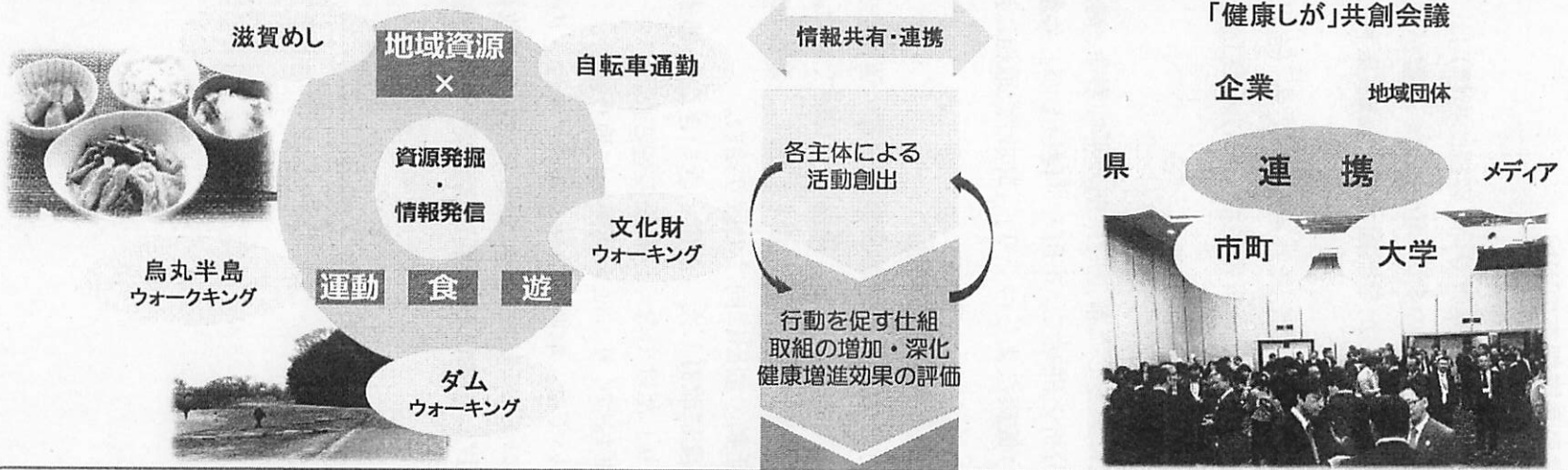
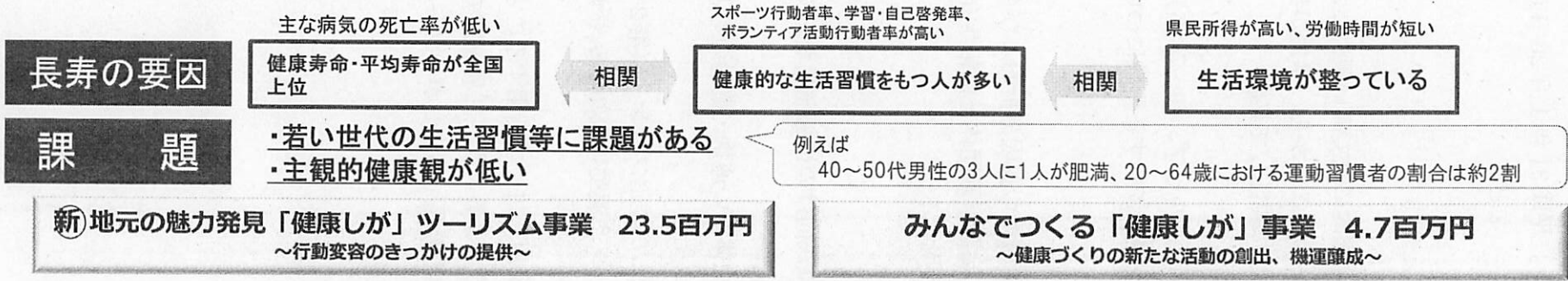
平成30年度は、「健康しが」共創会議の設置・運営や県民向けの情報発信などにより「健康しが」の推進に向けた土壌づくり、基盤づくりができた。

引き続き、「健康しが」共創会議の場を活用し、多様な主体との連携・協働のもと、県民の健康づくりに資する活動の創出に向けて取り組む。

また、平成29年度に改訂した「健康いきいき21ー健康しが推進プランー(第2次)」に基づき、「健康な人づくり」だけでなく、県民の皆さんがスポーツや運動に取り組みやすい環境づくりとして「健康なまちづくり」にも積極的に取り組む。

平成31年度においては、本県の自然や観光、食などの資源も併せて活用することにより、健康づくりを意識しない人にも楽しみながら生活習慣が改善できるよう、部局連携で「健康なまちづくり」に取り組む。(平成31年度新規事業 地元の魅力発見「健康しが」ツーリズム事業)

# 平成31年度 みんなでつくる「健康しが」事業 【予算見積額 28.2百万円】



課題解決 一層の改善

**健康寿命の延伸**